
看護理論

Nursing Theory

1 年次後期・選択

2 単位・30 時間

水田 真由美 教授

辻 あさみ 教授

【概要・目標】

主な看護理論の中心的概念や内容を学ぶことにより、看護の本質を探究する。さらに、卓越した看護実践の基盤となる看護理論を学修し、看護実践や研究・教育・管理への適応と課題について検討する。

【授業内容・スケジュール】

(担当)

1. オリエンテーション・看護理論入門 (講義)

(水田)

(看護理論とは、看護学のメタパラダイム、看護理論の変遷について)

2～7. 主な看護理論 (講義)

(2. オレムのセルフケア不足理論

(辻)

3. ロイの適応モデル

(水田)

4. ベナーの看護理論

(水田)

5. レイニンガーの民族看護論

(水田)

6. ミッシェルの病気における不確かさ

(辻)

7. ペンダーのヘルスプロモーション)

(水田)

8. 看護理論の分析と評価 (講義)

(水田)

(理論のクリティークと理論の活用について)

9～14. 看護理論を用いての事例展開およびプレゼンテーション (演習)

(水田・辻)

(学生の関心のある中範囲理論についての発表と看護実践、研究・教育・管理への適応と課題に向けての討議)

15. まとめ (演習)

(研究・実践への適応についての考察)

(水田)

【評価】

討議等への参加態度 (50%) とその都度の課題レポート (20%) & プレゼンテーション (30%) によって行う。

評価責任者：水田真由美

【テキスト】

特になし

【推薦参考図書】

J. フォーセット、太田喜久子他監訳：フォーセット看護理論の分析と評価新訂版、医学書院、2017

筒井真優美：看護理論家の業績と理論評価第3版、医学書院、2025

【その他】

演習は、学生主体によるプレゼンテーションおよびディスカッションを行う。

連絡先：mizuta-nc@wakayama-med.ac.jp (水田)